

# ひばごんだより

第3号

2021.10 発行  
八銚自治振興区



## 芸備線、地域と共に歩んだ85年

今、時代の流れの中で大きな変化が起ころうとしています。

過疎の町的生活交通・地域資源を守りたい。

庄原市芸備線・木次線利用促進プロジェクト、始まります！



今年6月、JR西日本が「芸備線沿線の地域公共交通計画に関する申入れ」を地元自治体（広島県・岡山県・庄原市・新見市）に伝え、今後の運行あり方を協議することになりました。JRは路線の存続、廃止は協議しないということですが、備中神代～備後落合間は西日本で一番乗客数が少ない区間で、三次～備後落合間も乗客の減少が著しい状況です。

申し入れを受けて庄原市も、近隣の市と協力をしながら芸備線の存続に向けた対策について活動を開始しました。

備後落合駅・道後山駅・油木駅（木次線）のある八銚自治振興区でも、芸備線・木次線の存続・活性化に向けて、周辺地域や各種機関と連携をとりながら、地域における利用促進や地域での事業などに、今後積極的に取り組むことになりました。



## 芸備線・木次線ニュース

今年6月にJR西日本から「芸備線沿線の地域公共交通計画に関する申入れ」を受けたことにより、8月からJRと2県2市（広島県・岡山県・庄原市・新見市）による利用促進策の協議・検討が始まりました。

庄原市でも市民と一体となって利用促進を進めるための体制づくり・仕組みづくりを進めるため、推進体制のための組織を作ることになりました。

各種機関や地域住民での活動も盛んになってきました。カープ列車をラッピングするために樽募金を開始したり、ポロシャツを制作したりと、芸備線を盛り上げようと様々な動きが出てきています。

運行ダイヤにも変化が起きています。10月23日～12月5or12日までの土日祝日に「増発列車」が運行されることになった一方で、2021年秋のJRダイヤ改正で、備後庄原～備後落合の最終便が減便され、最終便は18:46 備後落合着となりました。

年々減少する乗客数の中、コロナ禍において大きな動きが出てきた芸備線。八銚地域も市や各種機関と連携し、芸備線継続・利用促進のために今後様々な活動を行っていく予定です。

## りんごの季節になりました。

今年は春の遅霜で花芽が霜にやられてしまい、庄原全域でもりんごが不作のところが多いそうです。西城と東城の境にある高尾の「鉄岡りんご園」でも、収穫が始まりました。「今年はりんごの収量が少ないので、毎年固定のお客様にしかお出しできないので、また来年気候が良ければぜひ」と鉄岡さん。標高500～600m超えの八銚地域では朝晩の冷え込みで美味しいりんごが出来ます。八銚では他にも「藤原りんご園」さんがりんご作りに励んでおられます。



9～11月にかけて、約20種類のりんごが順々に食べごろを迎えます。

## おでかけ満月マルシェ in 八銚自治振興センター

10月2日（土）、口和「新月マルシェ」の会のご協力のもと、八銚自治振興センター屋外にて「おでかけ満月マルシェ」を開催しました。普段なかなか自治振興センターに来られない若い方や子育て世代に八銚に来ていただくこと、センターのキッズスペースや図書館、体育館などを解放し、旧小鳥原小学校の木造校舎の温もりを楽しんでいただきました。

当日は感染症対策をしながらの開催となりましたが、たくさんの若い方や子どもたち、地域の方に来ていただきました。「八銚自治振興センターに初めて来た。」という地域の若い方も多く、子どもたちもセンター内を探検したり、屋外や体育館でのびのびと遊び、子どもの声と足音が響く賑やかな一日となりました。



左：屋外でのマルシェ 右：ちびっこ花あそびのワークショップに夢中

## 絵手紙で「高齢者世帯への暑中見舞い」

八銚自治振興センターでは、八銚地域の80歳以上の高齢者のみの世帯に毎年「絵手紙の暑中見舞い」を送らせていただいています。今年は44件のお宅へ送付しました。月2回センターで活動されている「絵手紙教室」の皆さんが、素敵な絵手紙とメッセージ、宛名まで一枚一枚心を込めて描いていただいています。「暑中見舞いを受け取られた高齢者の方が、喜んでくれているのが嬉しくて励みになります。」と絵手紙教室の皆さん。「夏休みこども絵手紙教室」や西城市民病院内への作品展示など積極的に活動されています。



左：一枚一枚心のこもった暑中見舞い 右：絵手紙教室に参加した子どもさんと



# やほこに UI ターン!

今回は子育て世帯のUターン、育子さんの実家に家族で帰ってこられた平尾さん家族をご紹介します。

## 平尾友樹雄さん・育子さん・祥大くん(8)・亘くん(3) (高尾)



### 「家族を守りたい」想いからUターン

大阪で働きながら子育てをしていましたが、西城では母が病気がちの父と持病を持つ祖母を介護しており、老々介護が心配でした。「親や祖母を見守りたい」との想いから、大阪出身の夫と2歳半の息子と一緒に6年前に実家に帰ってきました。第二子出産後、2年前に母、今年祖母が亡くなりましたが、大阪から帰った数年間、4世代同居で賑やかに暮らせたことは、子ども達にとってかけがえのない貴重な時間だったと思います。

### 八銚での子育て

育子さん：大阪では上の子が生まれてすぐに保育所の申し込みをしても1歳でギリギリ入所。八銚に帰ってきてからは、保育所に気軽に入所できました。家の事が大変な時なども「母さんがしんどくならないように」と優しい言葉をかけていただき、快く延長保育を受けてもらったり、心が楽になりました。人数が少ない分、手厚く見てもらえ、子育て環境の良さを感じています。

友樹雄さん：近所の方も子ども達のことを気にかけてくれ、可愛がってもらっています。

保護者繋がりでも友人も出来、趣味のバンドも楽しんでいます。



取材中、近所に住む同級生のお友達が遊びに来ました。

### 田舎での就職活動は

育子さん：地域の繋がりですぐに声をかけていただき、家事や育児と両立できるスケジュールでお仕事をさせてもらっています。

友樹雄さん：大阪では建築関係の仕事をしていましたが、八銚に来てからは地元企業で観光事業所で仕事をしています。近所の方に紹介してもらったり、知人に声をかけてもらい、スムーズに仕事が決まりました。若い人が少ないこともあり、可愛がってもらえます。前職とは全く違う分野の仕事ですが、何も考えずに飛び込んでいくのも、いいと思いますよ。



# やほこグルメ!

都会にはない「山の恵み」と搾りたてのミルク。八銚地域で愛される「地産地消」のお店を紹介します。

## グリーンフィールド西城

(庄原市西城町小鳥原 347-1)

営業時間 10:00-17:00 (毎週月曜定休)



50年以上前におじいちゃんが小鳥原で乳牛を飼い始め、「美味しい牛乳を味わってほしい」と26年前にアイス屋さんを始めました。新鮮な自家製のミルクに、地物の野菜や果物を入れた「余計なものはいれない」こだわりの味。定番のミルクや抹茶、パンプキンなどの他、フキノトウ、ナツハゼ、サルナシ、またたびなど旬を味わえるメニュー常時20種類以上が店頭にあります。

長年お店を守ってきたおばあちゃんが引退され、昨年1月に孫娘の可菜さんがお店を引き継ぎました。可菜さんが生まれた年にオープンしたアイス屋。「おばあちゃんが辞めると言った時、店を引き継ごうと思いました。」大学では食品について学び、卒業後はおばあちゃんと一緒に店頭へ。オリジナルレシピを教わりアイスの味を引き継ぎました。「もう、可菜の味になってます。」と嬉しそうなおばあちゃん。おじいちゃんが始めたお店が、家族に受け継がれました。



おばあちゃん(英子さん)と可菜さん。

山の色々なものを活かしてみたいと、現在も元気にアイスの材料の山の恵みを収穫されています。

## グリーンフィールド西城の自慢は?

常時20種類以上の色々なアイスがあるところ。定番のものから、山のもの、季節の野菜や果物など、期間限定のアイスもあります。これからの季節は焼き芋や紫芋のアイスがおすすめです。



左からパンプキン・紫芋・ミルク・ナツハゼ。

## アイスクリーム、全国発送賜ります。

カップアイス1つ330円。箱代・送料別途

\*沖縄県を除く

・アイスの種類、個数

・お名前・ご住所・電話番号

・配達希望日、時間

をご記入の上、FAXでお承ります。

後日振込用紙を郵送します\*後払いです。

グリーンフィールド西城

FAX:0824-84-2711



## 八銚自治振興区の地域の活動を紹介します

### 庄原さとやまオープンガーデン を目指して！



9月21日に秋のガーデニング教室を開催予定でしたが、緊急事態宣言下のため職員と役員のみで短時間での植え込みとなりました。10月には50本のブルーベリー植樹会を予定しています。「庄原さとやまオープンガーデン」として木造校舎とウッドデッキが活用できるよう頑張ります。

### 男性料理教室



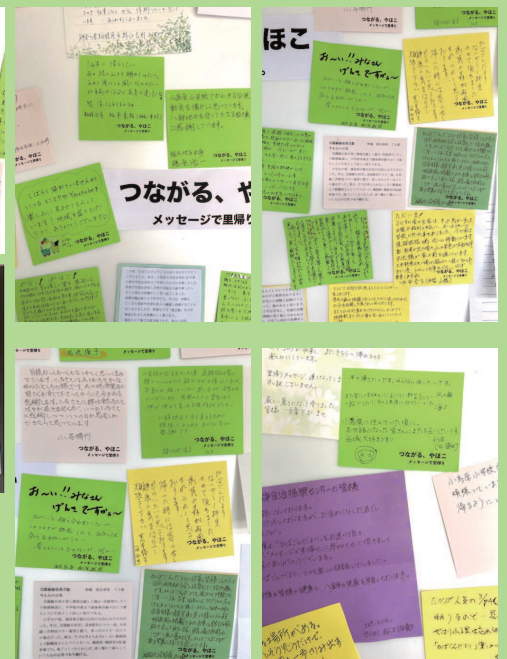
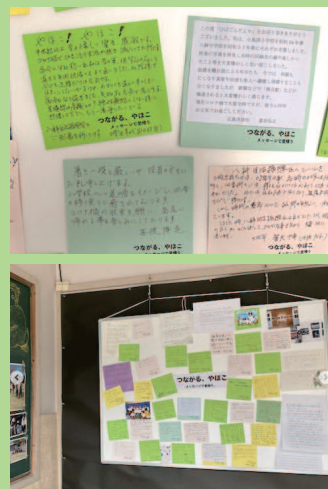
一人暮らし高齢男性を対象に、毎月1回男性料理教室を開催しています。「家で自分でも作れる」ことと、「みんなで楽しく作って昼食を囲む」ことで、高齢男性の孤立化を防ぐことを目的にしています。少人数でアットホームな雰囲気の中、参加者もスタッフも毎月楽しんでいきます。

### トウモロコシの収穫体験



前油木営農組合が毎年開催している小学校食育教室「とうもろこしもぎとり体験」が今年も開催されました。8月2日、油木駅付近の圃場に5月に蒔いたとうもろこしを、西城小学校の3.4年生がもぎとり、生でまるかじり！「甘い！美味しい！」と嬉しそうな声が上がりました。

## 「メッセージで里帰り」たくさんの温かいメッセージありがとうございました！



前号で募集した「メッセージで里帰り」に、34通の温かいメッセージをいただきました。1枚1枚八銚への想いが溢れるメッセージに、事務局も胸が熱くなりました！メッセージは八銚自治振興センターの玄関に展示させていただきます。こちらに来られる際は、ぜひお立ち寄りください！

八銚自治振興区のホームページ  
<https://www.yahokojichi.com>  
 「ヒバゴンビレッジやほこ」で検索してください



広島県に緊急事態宣言が出され、行事やイベントが開催できない日々が続きました。学校行事も延期・自治会行事も中止... いつもは人が集まる八銚自治振興センターも寂しくなり、広報誌も記事づくりに困りました（苦笑）。山奥の八銚ですが、庄原市全域に超高速光中心網が張られているので、ネットはできます。コロナ禍でなかなか会えない中、オンラインも検討していきたいです。とはいえ、やはり紙媒体もいいものです。皆さまからのメッセージを拝見し、手書きの文字は心に沁みるなど感じたり。兎にも角にも、人との繋がりはいいですね。

発行：八銚自治振興区  
 広島県庄原市西城町小鳥原 615-1  
 tel: 0824-84-2363  
 mail: yahoko.jichi@u-broad.jp